

Classification of adherence of CPAP users: a four-group comparison based on utilization rate and mean usage time on usage days

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2020-11-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00060013

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



博士論文審査結果報告書

学籍番号 1329022003

氏 名 加藤 千夏

論文審査員

主 査（職名） 須釜 淳子（教授）



副 査（職名） 加藤真由美（教授）



副 査（職名） 稲垣美智子（教授）



論文題名 Classification of adherence of CPAP users: a four-group comparison based on utilization rate and mean usage time on usage days.

（CPAP使用者のアドヒアランスの性質わけの試みー「使用率」と「使用日の平均使用時間」による4群比較ー）

論文審査結果

【論文内容の要旨】

本研究は、睡眠呼吸障害の第一選択治療である持続陽圧呼吸（CPAP）療法のアドヒアランスの分類を現行の2群から4群に分けて、特性を見出すことにより、4群化が可能なことを検証した。2016年10月～11月にCPAP外来を受診した535人を対象とした後ろ向き調査を行った。アドヒアランスの4つの群分類は、「使用率」を縦軸、「使用日の平均使用時間」を横軸とし、アドヒアランスの指標となる「70%」と「4時間」の値で2軸を交差させてできた4区分「 $\geq 70\% / \geq 4$ 時間」をⅠ群（良好群）とし、「 $\geq 70\% / < 4$ 時間」をⅡ群（時間不足群）、「 $< 70\% / < 4$ 時間」をⅢ群（不良群）、「 $< 70\% / \geq 4$ 時間」をⅣ群（日数不足群）とした。4群の成立の確認を散布図作成し、4つの群の特性には次の項目を比較した。（1）医学的データ：CPAP使用中の残存無呼吸低呼吸指数（AHI）、CPAP使用歴（2）身体的データ：性別、年齢、CPAP導入時の体格指数（BMI）（3）既往歴：高血圧、糖尿病、循環器疾患など、（4）受診動機：自発的か他のきっかけなどであった。データ分析方法は統計的検定を用いた。

その結果、Ⅰ群（良好群）は73.5%、Ⅱ群（時間不足群）は5.8%、Ⅲ群（不良群）は9.1%、Ⅳ群（日数不足群）は11.6%の分布が確認された。4群の関連要因の比較において有意差のあった項目は、CPAP使用歴、年齢、BMI、高血圧の既往、受診動機であることが見いだされた。

【審査結果の要旨】

本研究は、適用対象疾患が拡大された持続陽圧呼吸（CPAP）療法のアドヒアランス向上のためのケア方法の開発に貢献する結果を示した。各群の違いが明らかになったことから特性を生かした看護ケアの方法の示唆も得られた。公開審査では、統計および臨床への応用に関する質疑がなされ、適切な対応がされた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。